



保健科学研究院が岩見沢市でテレビとインターネットを活用した COI 健康コミュニティプロジェクトを開始

概要：

北海道大学大学院保健科学研究院では、岩見沢市、株式会社はまなすインフォメーション、株式会社テレビ朝日、北海道テレビ放送株式会社、株式会社日立製作所と共同で、地上デジタルテレビとインターネットを活用した、地域住民の健康保持と遠隔見守りの実現を目指した実証研究を開始します。

本研究院では、2010 年より、遠隔健康相談システムの開発とその実証実験として、高齢化率の高い岩見沢市において、看護師宅から在宅する高齢者の健康状態の把握などを行ってきました。今回は、これらをさらに発展させ、COI 岩見沢健康コミュニティプロジェクトとして、地上デジタル放送及びインターネット回線網を活用し、高齢者宅に設置した地上デジタルテレビをインターネット回線に接続することで、高齢者の見守りや健康状態の確認などを行います。これらの地上デジタル放送とインターネットを活用した新しい「健康の見守り」により、一定期間テレビの視聴がない時に、民生委員または町内会協力者による巡回を行うなど、生活インフラとしての地域連携の可能性を検討し、費用対効果分析を試みるものです。

本プロジェクトは、北海道大学 COI※の一環として、株式会社テレビ朝日、株式会社日立製作所が共同で開発した、テレビのデータ放送を活用した情報管理システムを、保健科学研究院及び岩見沢市が地域に合わせた形に監修・助言を行い、岩見沢市及び株式会社はまなすインフォメーションが構築したコールセンターシステムと合わせて活用することで実施します。本年度は試験サービスとして実施し、次年度以降の本格導入及び普及の拡大を目指して取り組んでいきます。

※COI (Center of Innovation) プログラムは、文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) が実施する、産学官連携によって革新的なイノベーションの実現を目指す研究開発プログラムです。

プロジェクトの意義：

本プロジェクトでは、以下を実証研究する予定です。

- (1) 地上デジタル放送及びインターネット回線網を活用した高齢者の見守りの可能性
- (2) 地上デジタル放送及びインターネット回線網を活用した健康情報の提供方法の検討

- (3) 地上デジタル放送及びインターネット回線網を活用した地域連携の可能性
- (4) 地上デジタル放送及びインターネット回線網を活用した新しい行政サービスの社会経済評価

開始時期：

2015 年 12 月 1 日（火）から順次開始。

お問い合わせ先

北海道大学大学院保健科学研究院 教授 小笠原 克彦（おがさわら かつひこ）

TEL：011-706-3409 E-mail：oga@hs.hokudai.ac.jp